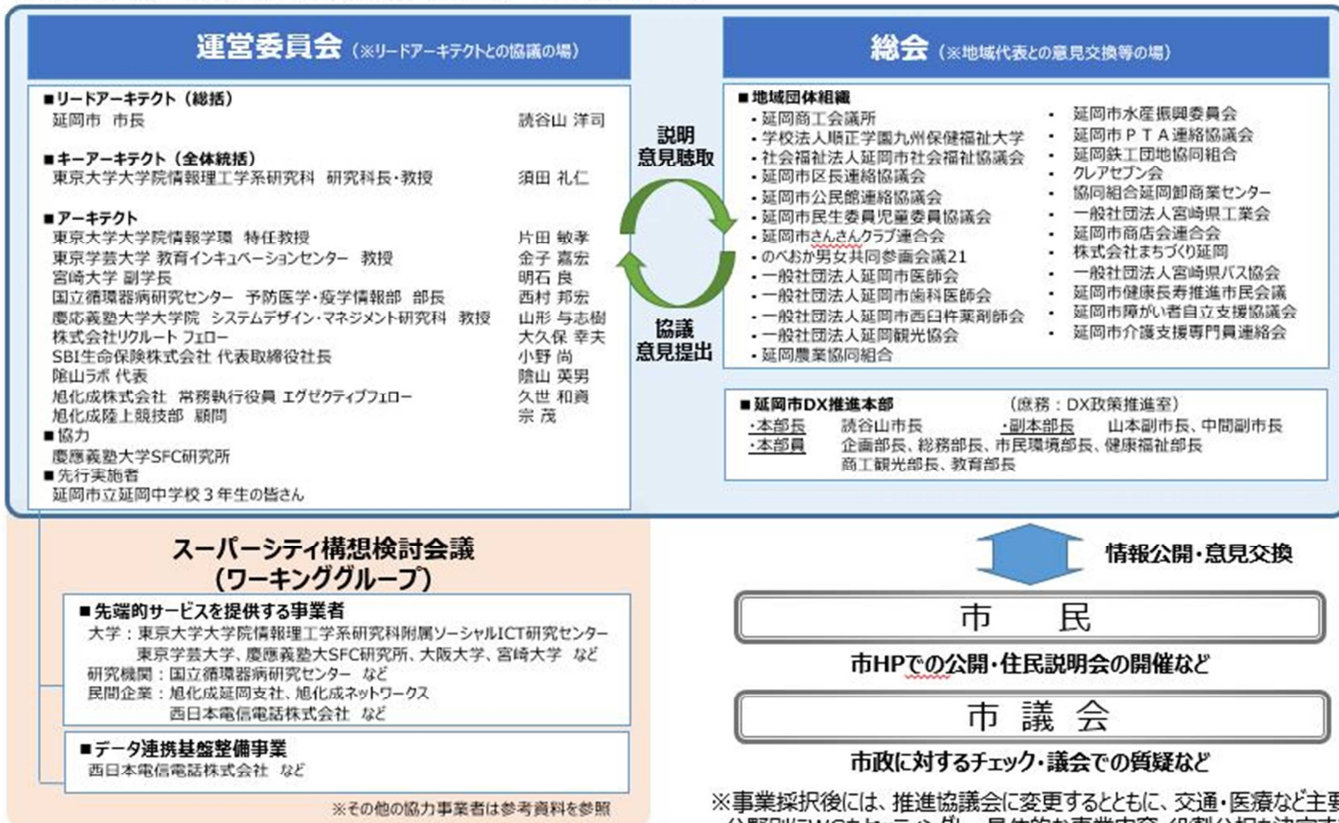


延岡市スーパーシティ構想準備協議会（令和3年2月19日設立）



アーキテクト【リードアーキテクト】

II ③「アーキテクト」に関する事項

Qアーキテクトの氏名、経歴、実績等

読谷山 洋司（よみやま ようじ）



延岡市長

■経歴等

昭和61年 東京大学経済学部卒業
同年、自治省（現在の総務省）入省。
平成17年4月 愛媛県総務部長就任。
平成20年7月 内閣府参事官及び内閣官房参事官に就任。
（緊急経済対策、企業再生支援機構法案、地方分権推進等を担当。）
平成22年7月 岡山市副市長就任。
平成24年1月 岡山市副市長、総務省 退職
平成25年3月 株式会社アレータライフイノベーション社長
平成27年4月 長崎県立大学経済学部教授
平成27年10月 株式会社アレータライフイノベーション会長
平成30年2月6日 第27代延岡市長就任

Qアーキテクトの地方公共団体における役職（顧問等）と発令（予定）日

市長

Qアーキテクトの選定理由

スーパーシティ構想全体や、提供されるサービス、情報の取扱い等について、地方自治体の長として責任をもって、地域住民に対し説明し、理解を得るべき立場であるため。

アーキテクトが担う具体的役割

スーパーシティ構想全体の統括
アーキテクトとの意見交換
事業者からの聞き取りや事業者間の調整
地域住民・地域団体等への説明 など

○アーキテクトの氏名、経歴、実績等



須田 礼仁 (すだ れいじ)

国立大学法人東京大学 大学院情報理工学系研究科 研究科長 (コンピュータ科学専攻 教授)
 専門分野：数値計算、高性能・並列計算

■経歴等

平成12年 4月 名古屋大学大学院工学研究科助教授
 平成14年11月 東京大学大学院情報理工学系研究科助教授
 平成19年 4月 東京大学大学院情報理工学系研究科准教授
 平成22年 4月 東京大学大学院情報理工学系研究科教授
 令和2年 4月 東京大学大学院情報理工学系研究科研究科長

■委員会・審議会等

平成22年4月～平成28年3月 日本応用数理学会 理事
 平成26年4月～令和2年3月 東京大学 情報理工学国際センター長
 平成28年4月～平成29年3月 東京大学 総長補佐
 平成29年4月～令和2年3月 東京大学 広報戦略企画室長
 平成29年6月～令和元年6月 文部科学省研究振興局 HPCI計画推進委員会
 将来のHPCIの在り方に関する検討ワーキンググループ 委員・主査代理

○アーキテクトの地方公共団体における役職（顧問等）と発令（予定）日

延岡市スーパーシティ構想アドバイザー（発令日：令和3年2月4日）

○アーキテクトの選定理由

スーパーシティ構想において中核的な役割を果たすデータ連携基盤については、セキュリティを確保しながら、相互運用性や相乗効果を図る必要があるが、須田氏は我が国の情報理工学を牽引する、最先端の知見を有する研究者であるため。また、基盤だけでなく最先端サービスの実現のために、世界最先端の技術を持つ東京大学大学院情報理工学系研究科の研究者の方々に密接に連携・参画をいただくため。

○アーキテクトが担う具体的役割

リードアーキテクトを補佐するキーアーキテクトとして、計画の全体調整を行う。
 データ連携基盤整備事業における、情報セキュリティ等に係る助言等

○アーキテクトの氏名、経歴、実績等

片田 敏孝 (かただ としたか)

国立大学法人東京大学 大学院情報学環 特任教授
 日本災害情報学会 会長

■経歴等

平成17年 群馬大学工学部建設工学科 教授
 平成29年 東京大学大学院情報学環 特任教授
 群馬大学 名誉教授

■委員会・審議会等

内閣府中央防災会議「災害時の避難に関する専門調査会」委員
 ・文部科学省：「科学技術・学術審議会」専門委員
 ・総務省消防庁「消防審議会」委員
 ・国土交通省：「水害ハザードマップ検討委員会」委員長
 ・気象庁：「気象業務の評価に関する懇談会」委員 などを歴任

○アーキテクトの地方公共団体における役職（顧問等）と発令（予定）日

延岡市スーパーシティ構想アドバイザー（発令日：令和3年3月1日）

○アーキテクトの選定理由

近い将来、南海トラフ巨大地震等が想定されている本市は、本構想において防災分野の先進的サービスを提案しており、片田氏は災害情報工学分野における高度な専門的知見を有する防災アドバイザーとして、継続して本市の防災施策に携わっているため。

○アーキテクトが担う具体的役割

防災関連サービスの構築に係る助言等

○アーキテクトの氏名、経歴、実績等

金子 嘉宏 (かねこ よしひろ)

東京学芸大学 教育インキュベーションセンター 教授
 一般社団法人東京学芸大Explayground推進機構 事務局長
 一般社団法人STEAM Japan 理事
 一般社団法人教育支援人材認証協会 運営委員会委員
 NPO法人東京学芸大こども未来研究所 理事
 日本教育支援協働学会 理事

■経歴等

平成 4年 4月 ~ 平成10年10月 ㈱ベネッセコーポレーション
 平成10年11月 ~ 平成31年 3月 ㈱おもちゃ王国/サンヨープレジャーグループ
 平成21年 6月 ~ 令和元年 5月 特定非営利活動法人東京学芸大こども未来研究所 副理事長

○アーキテクトの地方公共団体における役職（顧問等）と発令（予定）日

延岡市スーパーシティ構想アドバイザー（発令日：令和3年3月4日）

○アーキテクトの選定理由

少子高齢化が進み、未来を担う人材の育成が課題となるなか、東京学芸大学と本市は、令和元年9月に教育・子育てに関する取り組みを推進するための連携協定を締結し、様々な取り組みを展開してきた経緯があり、本構想においても教育分野の先進的サービスを提案している。この中で「新しい学び」の専門家である金子氏の専門的知見を活用する必要があるため。

○アーキテクトが担う具体的役割

教育関連サービスの構築に係る助言等

○アーキテクトの氏名、経歴、実績等

明石 良 (あかし りょう)

宮崎大学 農学部 教授 (平成18年5月1日~)
 宮崎大学副学長(平成27年10月1日~) 任期満了日：令和3年9月30日
 宮崎大学IR推進センター長(平成27年10月22日~) 任期満了日：令和3年9月30日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構 基礎生物学研究所 「メダカ」バイオリソース運営委員会委員 (令和2年4月1日~令和4年3月31日)

■経歴等

平成 3年 3月25日 博士(農学)
 平成10年 8月26日 日本草地学会研究奨励賞

○アーキテクトの地方公共団体における役職（顧問等）と発令（予定）日

延岡市スーパーシティ構想アドバイザー（発令日：令和3年3月18日）

○アーキテクトの選定理由

少子高齢化が進み、未来を担う人材の育成が課題となるなか、本構想において教育分野の先進的サービスを提案しており、地域の教育分野の課題等に精通した明石氏の専門的知見を活用する必要があるため。

○アーキテクトが担う具体的役割

教育関連サービスの構築に係る助言等

○アーキテクトの氏名、経歴、実績等

西村 邦宏 (にしむら くにひろ)

国立循環器病研究センター 研究所 予防医学・疫学情報部 部長 博士 (医学)
神戸大学大学院医学研究科AI・デジタルヘルス学会教授 (兼任)

■経歴等

1996 京都大学医学部卒業
1998 聖路加国際病院内科医員
2002 ハーバード大学公衆衛生大学院修士課程 修了 (医療統計・疫学修士)
2003 ハーバード大学公衆衛生大学院修士課程 修了 (医療経済学修士)
2006年神戸大学大学院医学研究科准教授 (膠原病学、検査医学)
2018年より現職

日本循環器学会 JROAD利用小委員会 会員システム/専門医登録システム委員、日本脳卒中学会/循環器学会合同 脳卒中循環器克服5か年計画委員会登録システムWG委員 (AI応用分野) 脳卒中学会 登録システム委員、関西経済連合会 関西健康・医療創生会議ワーキンググループ委員など学会委員、財界の委員を各種歴任 また厚生労働科学研究、AMED、環境省環境推進費など公的医療研究班の主任、分担などこれまでに40以上のプロジェクトに参加している

特に消防庁救急搬送データ、循環器学会、脳卒中学会、脳外科学会など学会登録を利用した数10万～数百万件の患者データを利用したビッグデータ解析を日本で主導する立場にある。近年は、国立循環器病研究センターの豊富な医療画像、臨床情報を用いた電子カルテからAI、医療機器開発などでこれまでLancet、Circulationなど国際的一流誌に250以上の英文論文を出版している。

吹田コホート研究を利用した吹田スコアは動脈硬化学会の公式リスク評価ツールとしてガイドライン順守の標準プログラムを活用している。

最近では脳動脈瘤の自動抽出AI、非接触非侵襲型センサーによる認知症患者の早期診断などを進めている

延岡市の医療保険、介護保険データなどを利用して延岡市の健康政策推進に協力をしている

○アーキテクトの地方公共団体における役職 (顧問等) と発令 (予定) 日

延岡市スーパーシティ構想アドバイザー (発令日: 令和3年2月18日)

○アーキテクトの選定理由

本市と国立循環器病研究センターは、平成29年度に連携協定を締結し、健康や医療等に関する各種の共同研究を実施してきており、西村氏はこのプロジェクトの中心的な役割を担っている。本構想においてもヘルスケア分野の先端的サービスを提案しているが、西村氏は予防医学及び医療情報分野における高度な専門的知見を有するだけでなく、地域の医療業界との連携の素地があるため。

また、ガイドラインにも用いられている「吹田スコア」など、予測モデルに関する研究・開発実績があり、本市の構想に資するところが大きい。

○アーキテクトが担う具体的役割

医療・ヘルスケア関連サービスの構築に係る助言等

疾患リスクの予測モデルの研究および構築

○アーキテクトの氏名、経歴、実績等

山形 与志樹 (やまがた よしき)

慶応義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授

■経歴等

1961年、神奈川県生まれ。東京大学教養学部卒業 (広域システム科学・学術博士)。

日本学術会議連携会員 (環境)

国際応用システム研究所客員研究員 (ウィーン)

統計数理研究所、東京大学、北海道大学、上智大学、ジョージア工科大学客員教授も兼務。

この間、国際学術プログラムFuture Earth グローバル・カーボン・プロジェクト (GCP) の国際オフィス代表をつとめるとともに、

気候変動政府間パネル (IPCC) の報告書の代表執筆者に就任。特に次の第6次報告書では、都市システムにおける脱炭素化を担当。

国際学会では、ElsevierのApplied Energy (持続可能エネルギー)、Environmental Planning B (都市データ解析) などの国際学術雑誌の編集委員として活躍。

これまでは主に地球環境問題に関する研究に従事。

特にこの10年間は、応用システム分析の観点から、土地利用-交通モデル、生態系サービス評価、持続可能な都市システムデザインに関する研究に、

環境省、文部科学省等の各種大型研究プロジェクトを推進。

○アーキテクトの地方公共団体における役職 (顧問等) と発令 (予定) 日

延岡市スーパーシティ構想アドバイザー (発令日: 令和3年3月10日)

○アーキテクトの選定理由

スーパーシティ構想を進めるにおいて、レジリエントかつ環境にも配慮した将来的なまちのすがたを検討していく上で、気候変動の影響や都市システムデザイン等に関する専門家である山形氏の専門的知見を活用する必要があるため。

○アーキテクトが担う具体的役割

スーパーシティ構想構築における都市システムデザイン全般に係る助言等

○アーキテクトの氏名、経歴、実績等

大久保 幸夫（おおくぼ ゆきお）

株式会社 リクルート フェロー兼リクルートワークス研究所アドバイザー
株式会社 職業能力研究所 代表取締役

■経歴等

株式会社 リクルート 専門役員（2011年～2020年）
リクルートワークス研究所 所長（1999年～2020年）
内閣府参与（2010年～2012年）
厚生労働省 労働政策審議会能力開発分科会委員（2009年～2019年）
文部科学省 中央教育審議会生涯学習分科会委員（2018年～2021年）

○アーキテクトの地方公共団体における役職（顧問等）と発令（予定）日

延岡市スーパーシティ構想アドバイザー（発令日：令和3年3月17日）

○アーキテクトの選定理由

本構想において教育分野の先端的サービスを提案しているが、この検討において人材マネジメント分野の専門家である大久保氏の高度な専門的知見を活用する必要があるため。

○アーキテクトが担う具体的役割

スーパーシティ構想構築における人材育成等に係る助言等

○アーキテクトの氏名、経歴、実績等

小野 尚（おの ひさし）

SBI生命保険株式会社 代表取締役社長
SBIホールディングス株式会社 顧問
SBIインシュアランスグループ 取締役
SBI地域事業承継投資会社 取締役
SBIネオファイナンシャルサービス株式会社 取締役
第一勧業信用組合 評議員
一般社団法人全国回信推進協会 業務執行理事
一般社団法人日本金融サービス仲介業協会 副会長（予定）

■経歴等

83年 東京大学教養学部卒業後、大蔵省（現財務省）入省
2012年 金融庁監督局参事官（地域金融機関担当）
2013年 内閣府本府地域経済活性化支援機構担当室長（兼任 ～2015年）
2014年 金融庁総務企画局審議官
2015年 同庁総括審議官
2016年 財務省関東財務局長
2017年 同省退官
2017年 日本信用情報機構常務執行役員
2018年 SBIホールディングス株式会社常務取締役

○アーキテクトの地方公共団体における役職（顧問等）と発令（予定）日

延岡市経済政策アドバイザー（発令日：令和3年2月15日）

○アーキテクトの選定理由

本構想において地域ポイント制度の導入や、ヘルスケア分野の先端的サービスにおいて、健康情報と金融機関等の連携を提案しているが、この検討において金融産業分野の専門家である小野氏の高度な専門的知見を活用する必要があるため。

○アーキテクトが担う具体的役割

金融産業関連サービスの構築に係る助言等

○アーキテクトの氏名、経歴、実績等

陰山 英男（かげやま ひでお）

陰山ラボ代表

一般財団法人基礎力財団理事長

徹底反復研究会代表

NPO法人日本教育再興連盟代表理事

■経歴等

文部科学省中央教育審議会教育課程部会委員（2005～2014年）

内閣官房教育再生会議委員（2006～2008年）

大阪府教育委員（2008～2014年）

大阪府教育委員会委員長（2012～2014年）

立命館大学教授（2006年4月～2016年）

○アーキテクトの地方公共団体における役職（顧問等）と発令（予定）日

延岡市スーパーシティ構想アドバイザー（発令日：令和3年3月2日）

○アーキテクトの選定理由

陰山氏は本市児童の学力向上のため継続的に教育施策に携わっており、本構想の教育分野の先端的サービスの検討において、地域の教育分野の課題等に精通した専門家として陰山氏の専門的知見を活用する必要があるため。

○アーキテクトが担う具体的役割

教育関連サービスの構築に係る助言等

○アーキテクトの氏名、経歴、実績等

久世 和資（くせ かずし）

旭化成株式会社 常務執行役員デジタル共創本部長兼デジタルトランスフォーメーション統括
工学博士

■経歴等

1987年IBM入社、東京基礎研究所に副主任研究員として配属。プログラミング言語およびソフトウェア・エンジニアリングの研究に従事。

プログラミング言語担当、ソフトウェア・テクノロジー担当などを経て、2004年IBM東京基礎研究所長、日本IBM理事就任。

2005年執行役員就任。

2006年より米国ニューヨークのIBM本社に海外赴任。

帰国後、システム開発研究所長、サービス・イノベーション研究所長を経て、2008年未来価値創造事業部長に就任。

2009年研究開発担当。

2017年より最高技術責任者（CTO）。

2020年IBMを退職。旭化成株式会社入社、執行役員。

2021年現職。

筑波大学大学院工学研究科修了。コンピュータ・サイエンス専攻。工学博士。

○アーキテクトの地方公共団体における役職（顧問等）と発令（予定）日

延岡市スーパーシティ構想アドバイザー（発令日：令和3年2月22日）

○アーキテクトの選定理由

スーパーシティ構想において中核的な役割を果たすデータ連携基盤については、セキュリティを確保しながら、相互運用性や相乗効果を図る必要があるが、久世氏は地元大企業におけるDX推進の責任者であり、高度な専門的知見を有するため。

○アーキテクトが担う具体的役割

データ連携基盤の構築及び産業の高度化・効率化に係る助言等

○アーキテクトの氏名、経歴、実績等

宗 茂 (そう しげる)

旭化成陸上部 顧問

■経歴等

- 1976年 モントリオールオリンピック出場 (マラソン)
- 1984年 ロサンゼルスオリンピック出場 (マラソン)
- 1987年 旭化成陸上部 監督就任
- 2005年 旭化成陸上部 顧問就任

○アーキテクトの地方公共団体における役職 (顧問等) と発令 (予定) 日

延岡市スーパーシティ構想アドバイザー (発令日: 令和3年3月3日)

○アーキテクトの選定理由

本市はアスリートタウンを標榜しており、地元を拠点とする実業団チームやここに所属する多くの一流アスリートが、市民の健康増進やスポーツ振興に積極的に関わっている。本構想ではヘルスケアや教育分野で先端的サービスの提案を行っており、この検討において、宗氏の一流アスリートとしての豊富な経験や知識を活用する必要があるため。

○アーキテクトが担う具体的役割

健康づくり・ヘルスケア関連の事業に係る助言等